

2025年4月1日

高松出入国在留管理局審査部門 御中

フューチャーデザイン日本語学校
校長 宇佐美 誠道

日本語教育機関の告示基準四十五号に基づいて、自己点検（学校評価）を報告いたします。

◎期間：2024年4月1日から2025年3月31日

◎評価基準

5：達成している 4：ほぼ達成している（改善の余地あり） 3：どちらともいえない
2：改善を検討・努力 1：改善が必要

◎各観点別の評価規準

(1)教育の理念・目標

ア	教育理念・目標は適切か	⑤・4・3・2・1
イ	理念・教育目標に合致したコースやカリキュラム設定をしているか	5・④・3・2・1
ウ	教育理念・目的が教職員間で共有され、改善に向け定期的に意見交換ができていますか	⑤・4・3・2・1
エ	教育理念・目的が生徒・保護者に共有されているか	5・④・3・2・1
オ	PDCAを行い、必要に応じて改善を加えているか	5・④・3・2・1

本校では、教育理念と目標を全教職員で共有し、学生一人ひとりが日本社会で生活することができる日本語習得と学生が来日する際に抱いた夢の実現を支援しています。本校オリジナルの教員マニュアルに基づき、都度、教員の意識統一を図りながら学習指導の品質を確保しています。さらなる「日本語能力の向上」のために、カリキュラムや模試、そして個別面談を通じて、課題に対して常に改善を加えながら、学生に寄り添った教育指導を行っています。

(2)学校運営

ア	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営がなされているか	⑤・4・3・2・1
イ	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能しているか	5・④・3・2・1
エ	教育目標達成に必要な講師の知識、能力及び資質が生徒、保護者に明示されているか	⑤・4・3・2・1
オ	喫緊の課題対応と中長期の課題に向けた運営がなされているか	5・④・3・2・1

業務の見直しについては、カリキュラムの適宜修正に重点を置いています。四半期毎に各レベルの総括を行うことで、学生がより教育目標を達成できる体制を整えております。

学校運営においては、教務部と事務局の幹部による定期的な会議を開催し、喫緊の課題に対応できる体制を構築しています。教務部においては、毎週 1 回の教員会議にて、学習指導上の課題や学生が抱える課題を共有し、学生に対する対応力を身に付けています。

(3)教育活動

ア	カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか。また、学生の能力に応じた授業・指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生の理解度を把握し、個に応じた指導を行っているか	5・④・3・2・1
ウ	学生の日本語資格取得（E J U、J L P T等）のための受験支援を行い、レベルにあった資格試験の受験を促しているか	5・④・3・2・1
エ	大学・大学院及び専門学校に進学先情報また就職先情報を積極的に収集し、学生の進路相談を十分に行い、適切な進路先が決定できるように支援しているか	⑤・4・3・2・1
オ	文化理解や、地域との共生のための活動は適切か	5・④・3・2・1

本校では、基礎力の定着に重点を置き、しっかりとステップアップできるように丁寧な指導を心がけています。学習習慣の確立が本校の目指す姿であり、そのために、宿題や小テストを積極的に行い、学びの土台を築いています。

また、学生の学習状況を分析し、定着度が低いと判断された分野に関しては、授業で重点的に指導し、万遍ない技法の習得を支援しています。

語彙・漢字力の向上においては、留学生が特に苦手とする分野であり、入学時より、学生に自主学習を促しています。進学・就職後の活躍にも直結する力であるため、本校のカリキュラムの特徴の一つです。

JLPT 対策として、模擬試験を定期的に開催し、解説授業と個別指導による理解の定着を図っています。

進路指導においては、キャリアセンターにて「進路支援ポリシー」を策定し、より実践的な支援を高めています。進路指導のスケジュールや支援内容、教職員間の役割分担をさらに明確にすることで、学生の夢の実現の後押しにつながっています。

地域との交流活動は、開校以来、夏祭り参加やボランティア活動、防災訓練等、交通教室、防犯教室を実施しています。あらたに、東部地区社会福祉協議会との防災に関する協定書、坂出子ども園とのイベントに関する連携書を締結し、学生の日本社会における適応力の育成をさらに推進しています。

(4)学修成果

・評価規準

ア	授業の進度は適切か？説明はわかりやすいか？	5・④・3・2・1
イ	目標が適切・明確で、計画的に行われているか？	5・④・3・2・1
ウ	動機づけのための授業方法に工夫はみられるか？	5・④・3・2・1
エ	定期テストの実施など、知識の定着が計画的か？	⑤・4・3・2・1
オ	質問への対応等、個に応じた指導をしているか？	⑤・4・3・2・1

定期テストや課末テストの結果をもとに、学生一人ひとりの理解度や課題を分析し、個別面談でフィードバックを行うことで、学生の学習に対する動機付けをしています。自宅で

の自主学習に積極的に取り組めるように、宿題の内容は都度工夫しています。
 また、日本語で表現する楽しさを体験させるために、演劇発表会やスピーチ活動などの体験型学習を取り入れ、学びを実感できる授業づくりにも力を入れています。
 学生の学習意欲の基礎は出席率であり、クラス別に出席率目標を設定し、クラスの全学生が互いの刺激し合える環境にしています。
 こうした取り組みの成果として、2024年度の学生授業満足度調査では、全体的に高い評価を得ました。

(5)生徒支援

ア	学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生の在籍管理は十分機能しているか	⑤・4・3・2・1
ウ	健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
エ	保護者と必要な情報共有ができていますか	5・④・3・2・1
オ	防災や緊急時の危機管理における体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
<p>在籍管理・健康管理は専用システムを活用することで、欠席や体調不良の早期発見と個別フォローが可能です。必要に応じて経費支弁者に情報を共有し、対応力を高めています。 在留資格支援では、更新オリエンテーションを実施するとともに、申請書作成フォロー、提出書類の収集支援を丁寧に行っています。 生活指導としては、日本社会で生活するうえでは不可欠な、①日常生活に必要な知識②交通ルールやマナーに関する知識③防災知識の習得に取り組んでおります。とともに坂出市の防災訓練に参加し、実践的な知識と地域交流の機会を提供しました。</p>		

(6)教育環境

ア	教育機関は教育施設として、適切な環境にあるか	⑤・4・3・2・1
イ	各教室は、生徒数に応じた環境で、授業に集中できるか	⑤・4・3・2・1
ウ	教育内容及び受講生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか	⑤・4・3・2・1
エ	視聴覚教材や IT を利用した授業、またオンライン授業が可能な設備や教育用機器等が整備されているか	⑤・4・3・2・1
オ	個別指導や相談に応じたスペースが確保されているか	⑤・4・3・2・1
<p>一人当たりの校舎面積は十分に確保しており、オンライン授業に対する設備は開校以来整備しています。図書館には、日本語教材や日本の歴史・文化に関する書籍を揃え、自主学習を支援しています。 進路相談室には、相談コーナーと進学・就職に関する資料やパンフレットを常時設置しており、自由に閲覧できるようにすることで、学生が主体的に将来を考え、相談と準備ができる環境づくりに努めています。</p>		

(7)入学者の募集・財務

ア	学生の受入方針は定められているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生募集活動は、適正に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	適正な定員設定及、在籍者数、教職員数になっているか	⑤・4・3・2・1

エ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5・④・3・2・1
オ	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5・4・③・2・1
<p>明確な留学目的、高い日本語学習意欲、卒業後の進路に対する具体的な展望をもとに、選考を行っています。面接や書類審査において、学生本人の目的意識や支弁者の支弁能力の妥当性をより丁寧に確認する体制をさらに強化しました。</p> <p>引き続き厳格な選考方針を維持しており、すべての応募者に対する必要書類においても審査を徹底しています。</p> <p>また、教員数については、質の高い日本語教育を提供するため、告示基準に定められている上限授業時間数をかなり下回る授業時間を担当させています。</p> <p>予算に基づいた学校運営を実践しており、学生が安心して学習できるように努めています。</p>		

(8)現職教育 (OJT)

ア	教員の指導力向上のための取り組みが行われているか。	5・④・3・2・1
イ	出口指導のための現職教育が行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	オンライン授業への取り組みの教員支援はあるか	⑤・4・3・2・1
エ	教育相談や生活指導について学ぶ機会があるか	⑤・4・3・2・1
オ	教案の共有など教員の協力体制が構築されているか	5・④・3・2・1
<p>教職員の指導力向上のために教員研修と OJT 研修を定期的実施。進路指導支援力のさらなる向上のためにキャリアセンターによる教員への実務研修を実施しています。</p> <p>教案や宿題等の共有化は、一元管理をしており、誰でもが閲覧でき、すぐに活用できるシステムを構築しており、実践的な現職教育を継続できる体制にあります。</p>		

(9)法令遵守

ア	入学者の募集に当たり、入学希望者に対し、告示基準に定める事項に関する情報の提供を適切な方法により正確かつ確実に行っているか	⑤・4・3・2・1
イ	個々の生徒の単位時間ごとの出欠を正確に把握するための適切な措置を講じているか	⑤・4・3・2・1
ウ	生徒の在留期間並びに資格外活動の許可の有無及び内容を把握し、出入国管理法令に違反しないよう適切な助言及び指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
エ	告示基準に基づく地方出入国在留管理局への報告を適切に行っているか	⑤・4・3・2・1
オ	告示基準に基づき、記録、届出のあった内容又は資料を適切に保存しているか	⑤・4・3・2・1
<p>本校では、出席に関すること、資格外活動に関することは、本校の管理システムに記録し、都度、全教職員で確認し対応しています。資格外活動に関しては、就職先からの労働条件明示書や勤務台帳の提出を条件に就労させています。</p> <p>告示基準に基づく地方出入国在留管理局への報告は、詳細コメントを添えて、遅れることなく適切に行い、また、その書類はデータと印刷物にて厳重に管理し保管しています。</p>		

(10)地域貢献・社会貢献

ア	生徒に坂出(香川)で生活する意義を考えさせる機会はあるか	5・④・3・2・1
イ	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5・④・3・2・1
ウ	地域の催しに積極的に参加しているか	⑤・4・3・2・1
エ	公開講座など学校への地域開放を行っているか	5・④・3・2・1
オ	活動に、将来の日本や母国への貢献につながるものはあるか	⑤・4・3・2・1
<p>日本での生活習慣やマナーなどを学ぶ講座を授業内に取り入れています。地域とのつながりを大切にし、今年度も地元高校との交流や市内の就労外国人の子どものための日本語講座を実施しました。日本の伝統文化に触れる機会として、夏祭りへの参加、献血や清掃活動などのボランティア活動への参加は異文化交流にも貢献しています。</p> <p>地域社会と共に成長する外国人留学生の育成に力を入れています。</p>		

以上